提議なき限 佛大統領同様婉曲に和平提案を拒絕し 側の如何なる提議で

H

は準蔵時となり日はなりとの事だつな

んとして野村性 の野日牽制ゼマ の野日牽制ゼマ はる番犬役を空 ける番犬役を空 ける番犬役を空

平提案檢討中 質現可能性皆無か 理由を叙載し「若し兩陛下が恒久和平を招來し得る如き見込あるド回答を發せられた、右回答に於て國王は英國が職端を開くに至つた 余は余の政府が直ち 和平提議に對す

ドイツ政府は十二日ベルギ

aれば、スターリン書記 シンド官邊に入つた情報 シンド官邊に入つた情報

【太原十二日愛園通】 重慶 地に建した確實なる情報に 地に建した確實なる情報に なると去る九月中旬頃五臺 產軍續

ルギー獨大使は十一ギー、ナビュロー・シニバー ク外担

、オランダ兩國元首よ 一府は目下慎重これを検討中外相を訪問、過酸ベル 同和平提案に對しドイツ政

總長宮殿

をが開始した。 をが開始できた。 をが開始できた。 をが開始できた。 をが開始できた。 をは、 をは、 のでは、 のでは、

吾

め

てるた遊撃職も陝西に入っ たと言はれ更に孝義附近の 共産軍も目下盛んに西北に 移動中で武郷附近にあた約 一千の共産軍が去る十一月 五日頃第八路軍副司令彭徳

軍の西北地區進転が引機されている。 東州キロ)附近の共産軍がどこからか移動し来り は九日頃西方に移動、古縣 軍がどこからか移動し来り けてゐる、而して國共間の い限り山西省内にある共産 に移動し来り が限り山西省内にある共産 に移動し来り はたる。 が限り山西省内にある共産 に移動し来り はたる。 にある、 にある。 にある、 には、 にある。 にある。 にある。 にある。 にない。 にある。 にある。 にない。 にな

を ・ 大震要政策に闘する意見の らかとなるに至つた ・ なうなは決定数に達しない ら發射したものと判別 ・ ため已むなく十二日がら當 南事件とも租界に集会 ・ ため已むなく十二日がら當 南事件とも租界に集会 ・ のと別別である。

强硬態度明示 (香港十二日發園通) 軍慶 開催不能

正もとづき目下對フィ 政府は右スターリンの

以上個人的整望に錯覺を起 がすこと明かになつてゐる がすこと明かになつてゐる がすこと明かになってゐる がすこと明かになってゐる がすこと明かになってゐる がする。▼

件は同一犯人

回せず

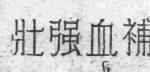
は日本の動変傳統政策では としては、股次耕等々は指く を動力に対してもまり、 を動力に対しているの数数策では をもして此の領も果果を禁止 をして此の領も果果を禁止 をして此の領も果果を禁止 をして此の領も果果を禁止 をしてとなる。 をしてはとなる。 でを離に大切が でをが出たので失館に大切が でをはばくば でもば之を接がんとする者 としてよるとは でもばった。 を対したがよりでしている。 でもばれるとする者 でもばった。 でもまりましている。 でもばった。 でもばった。 でもばった。 でもばった。 でもばった。 でもないる。 でもばった。 でもないるとする者 でもないる。 でもないる

す こと毎度に及ぶ▼圧を以て 工業以上とするはよし斯人 にあらずんば蒼生を奈何を は、にあらずんば蒼生を奈何を は、た余繁するは稍早計▼常 ないまするはれる道楽

六日爵任の豫定 人 事往 京 來

アンダンテ・カン ☆ ね 草(タルティス) サエニスの セレナード(メーヘル) テノール領唱 フランツ・フェルカー









英能軍省は十二日北支駐屯一英北支軍引揚 に立つ 和膜

對英本土空襲基地確保に

獨軍侵入は確實視

もので現在オランダ東部地 特には防磐を設置し頭は地 備工作を行つてをり主要道 備工作を行つてをり主要道 備工作を行ってるり主要道 のがオランダにおける防備 るがオランダにおける防備

ルカに至る第一線防備地してゾイダー減島からソー以上南防備線の前線と

はいへ直ちにオランダ援助れてゐる、また英佛兩國がれてゐる、また英佛兩國がれてゐるが英佛がからるオランダ、ベルギー兩國の教授に赴くはほな確定なりと

オランダに侵入した鴨は出 オランダに侵入した鴨は出 大針である複様でその場合 はボーランド攻略當時と同 はボーランド攻略當時と同 し且つオランダ側防備線の

英勞働黨首近

下に潰え んてことは

五年職事を強く呼ぶ國、この時ぞと世界政策を轉換させる國

船舶使用を妨害せんとする 軍の地上作戦は勿論敵軍の 関係を平均七十センチとし 動力を である。

間およびウ

まつた 英國も佛蘭西も、あつさ

ワルツ篇

の日く

第二組曲 ザーの舞魚、ウルベータの青第二組曲 が下っその死、アニトラ 第一組曲 等、アーゼの死、アニトラ 第一組曲 等、アニトラ 第二組曲 が リーゼの死、アニトラ

国

の母(を)

溴花家辰丸

三昧線 順吉・小友

五郎·雪·东

ド東海林 東海林太郎 東海林太郎 大郎 大郎 大郎 大郎 大郎

における関権事件

新水路沿岸諸都市の防備 だれるマース河上に至る に立た、ナールデン東部を がれるマース河上に至る が、アムステルダム東方の

にロンドン十二日登園道 にロンドン十二日登園道 に対するものと見 が最も有力な候補に奉げら をは近く實現するものと見 をは近く實現するものと見 をは近く変視してなるが、最 は下院議員グリインウッド は下院議員グリインウッド を関いてある。しかして更と がよってので、 を対して更として、 を対して更い。 を対して更い。 を対している。 にいるで、 にいるので、 にいるので、

を造らうとする動き さらに支那の西北に、コ

実結してゐる

英佛の勝利は約束されてあ 音をは最後 の (寫眞はルブラン佛太 フランスが り (寫眞はルブラン佛太 フランスが 税領) ローカ三九年の今十一月十一 つたのである出征兵 が関兵を行つてゐたフラン 揚たる姿は が関兵を行ってみたフラン 場たる姿は が関兵を行ってみたフラン 場たる姿は が関兵を行ってみたフラン 場たる姿は 動してその変は見られない。
な、毎年休戦記念日には余が関兵を行つてゐたフランが関兵を行つてゐたフラン

の問題である以上勝利が吾の問題である以上勝利が吾の自由を掠奪し来つた を立場を是認する旨を明かに し又英佛土相互援助條約成 に変がまりカ議會は英佛の た立場を是認する旨を明かに である。これに反し厳ドイ である。これに反し厳ドイ である。これに反し、 を記する旨を明かに とでの如きは吾々の勝利への 保證である

香港十一日登園通り軍慶馮・延安に飛ぶ

接のため十四日午前八時十新京海軍武官府武官察折少

英佛海峽に現る

桑折少將赴哈

獨軍爆擊機

来るが果して共産軍全部隊 が省外に撤退するか否かは、 が省外に撤退するか否かは、 が省外に留め置き遊撃工 れを省内に留め置き遊撃工 作や特殊工作を緩行させる ものとしてをるもその效果 は必然的に漏まつてゆくも

四陽兒氏 (黑河省長)四陽兒氏 (黑河省長)

(水のエレギ 中のエレギ 金色夜叉類 の の 夢やたり 放送局 明 が たりまり 放送局 明 が たり 夜

草海林太郎 海林 太郎

コロ公業原 み浩道な

娘ごょろ上州路

を要って、警備の重任を負ふ に (加はりつゝあるを息 に (加はりつゝあるを息 に (加はりつゝあるを息 にもない。 にもが協和會に依つて必 のである。それが首都に はずる限り恐らく未だ一箇に はずる限り恐らく未だ一箇に も集められて居るまい▼後

平島理事歸祉



切り離せない

吉野區との

經濟住吉町會意向

題と共に六區とする大温劃 について傾重考究中である について傾重考究中である 来に前行政區域と警察場管 を記述を一致せしめ飼者の 一段の圓滑化を期さんとす るにあり成果は頗る期待さ れてゐる

北住吉町間関かまる。 野區に屬してあるが今回の 原改正に伴つて地理的立場 から寛城區内に編入される である。 この大勢に對し住吉町會は である。 のと見られるのである。 の大勢に對し住吉町會は である。 のである。 だが新鳳副制電施については必然的に各町會では早くもこれ で各町會では早くもこれ が併合について對策を協 が供合について對策を協 が、最も維 が、最も維

(大学田)"

然し地理的に亦市行政の大 製より眺めても同町を吉野 正より分離、寬城區への編 正なる、いづれにしと見られ で最も注目を惹いてある。 ので最も注目を惹いてゐる。 ので最も注目を惹いてゐる。

B/H 五名 午前九時 日/H 五名 午前九時 日/H 五名 午前九時

下前八時大連から (はと) 率天から (はと) 率天から (本) 率天から (本) 率天から

審談守迅速正確 需談守迅速正確 審談守迅速正確

精質取引してあた 精質取引してあた を輩をも正に指麻

等南熈郷玉来、小林の三名 は設論の上始末書で釋放、 は設論の上始末書で釋放、 所に送つた、同派出所が同 が同 が同 合格者氏名發表のらへ直ち前後採用の機定で今月下旬 のうち慢秀なものを五百名 百名(新京百

する【寫眞は試験場】 線原因を調査するとAもに 整臓除から係官取けつけ脱 整臓除から係官取けつけ脱

M G 訓練 於電々會 於實山 生徒創案作品展最終

鏃區紹

交渉を代行す

滿洲特殊製紙珠台社

新京東一條通四人

與亞鑛業事務所

謹告恢也

宮み候僚以段生前辱知る位に後四時訳町西本願寺に外で相

京原に到着、撃フォームに ・ 京原に到着、撃フォームに ・ 京原に到着、撃フォームに ・ 京原に到着、撃フォームに

次豫選始る

▲ 皇童生徒創案作品展最終 日り於寶山 ★ 電々風 G 訓練 於電々會 社 一 中央法衙防衛訓練 於電々會

O

種

問

四選手競 新京管理局第

寒

品

エリ発ヤ

貨却問屋

政改革具體案進む

か十三日朝記録破りの寒波が要來した、この朝の最低が要來した、この朝の最低が要來した、この朝の最低が要來した、この朝の最低が要來した、この朝の最低に大臣一分度七分に比べると四度一分度七分に比べると四度一分からは六度四分も低く實に分を正五年の零下九度四分も低く實に大正五年の零下十六度一分に次ぐ廿四年ぶりの窓さだとある、耳朶も千切れさら

道北住吉町

協和會館で協和會職員、協 をおけた流した満州関協和 育年案仕職員百九名は十二 青年案仕職員百九名は十二 市が、十三日午前十時から たが、十三日午前十時から

席の下にこれが 跡還報告式 を擧行した

精神 深 韻 還 蔣 古 式

重役會議出席ため赴通中の 重業會議出席のため錦縣へ 産業會議出席のため錦縣へ れ日満闽語をもつて祝辭を 述べ、一同劉領を唱和し最 後に大日本帝國、大満州帝 國協和青年奉仕縣の萬歳を 三唱、柏原總務科長の閉式 の辭があり午前十一時終了 終つて同講堂に於いて幸住 終ニュース映畵上映あり、 意義深き鷗遠報告式を終る 精いて橋本中央本部長の招 行により慰勢懇談會を午前 十一時三十分から中央飯店

1

十九日まで年賀郵便の特別接をなす豫定のもとに準備を進めてゐる満洲國に於ても同様趣旨のもとに從來のやうな大々的宣傳を行はず時を自粛して戰線へはどしく「獎勵するといふ意向のもとに前年通り納來その存腹を論議されて來た年賀郵便に關しては日本では遞信省に於本年も騙すところあと四十日、聖徳會では例年通り十日から門松の中本年も騙すところあと四十日、聖徳會では例年通り十日から門松の中本年も騙すところあと四十日、聖徳會では例年通り十日から門松の中本年も騙すところあと四十日、聖徳會では例年通り十日から門松の中本年

即して十二月二十日から二

方 キョイドの兩氏は十一日成 は厳秘に附されてゐる 度 新知文原の花形ゴドス、 るが、所要時間その他詳細 は シス航空原の花形ゴドス、 るが、所要時間その他詳細 は に中二階二疊)を借りるに 同所附近の家屋(二、三疊 **予係官を手古暦らしてゐる 本摘ひで頭として口を**割ら 手して賣捌き巨利を貧つ何に彼等が禁制品を巧に

春唯三光無福藤浦陽公益盛順盛精

押寄せた二百人! 委任官考試始る

第し張盗を働いたものと間 明した

なりすし 卷すし 丼物 かてん、やきどり、洋食

新京、奉天、哈爾濱、吉林 任文官採用考試は 中島知久平氏

堂。

ヤ街電③五九〇九

密賣の家。に巢喰ふ

麻薬の虫學る

味八名一網打盡

Δ. 2638 | | | 1410 | 24 | | | | | | | | 2 北京

定往來十三日 在 來 十三日 在 來 十三日 音色の良き琴三味線 新京唯一の専門店



に就では告別式で明十四日午 二十九分病院に於て長逝致候 一部一十三日午前六時 一島病氣療養

4 御一報秘密参上 高價買 1 3 高話③三六八七番地町三丁目三番地 入!!!

日科業營 、備 」: 新 其他材料 備 敷疊 後 疊表 表床替 新京曙町三丁目十八 兒玉疊商店 電話が二二九〇番

111 御用意に Me 1 4

待兼れ見玉公園リ

塲

開

き

ング

に公開してあるが本年も過 に公開してあるが本年も過 スケートリンクを設け市屋 スケートリンクを設け市屋 十五日開場式

るをも市場署育の急過民にで保

般に公開する運びとなった 本年は例年の質情に鑑みス ビード、アイガーの設備、 での設備に鑑みス 新設するなど全場に誇り得

金滿 作

付き使用人も應接格闘を演やにはにくだんの强盗に細いて下さい」とのら金を出して下さい」との言葉に油励した魔を主人がおいる。

十二日午前四時四十分頃大連市天神町廿八番地質店渡遠玄殿方に拳銃と出യ庖丁 逸玄殿方に拳銃と出യ庖丁 を持つた覆面の强盗が入侵 「金を出せ」と主人夫妻を 着型、機轉を利かした妻女 拳銃型盗働く

昭和十四年十一月十三日合に依り臨時休業さして戴きます母々有難う御座います今般本協會 新京米穀專門商協會

DIIO AIRA 防寒の

事故により新京駅は各線よ りの連絡に一大支障を楽し 店

一引商工株式新京特別市中央通空二十三番地

會社本

新京支店

新京特別市與安大路二〇六號 記

二引商工株式會社新京支店

り候に付十一月十五日 より左記の處へ移轉仕候

廬 告

移

楔ご

た一角にまたもや最近ばた だたとこの類の店が進出して、さても関都の登展振り はどこまで行くかとこんな 方面にまで見出して驚くの である▼その新しい店とい ふのは曰く「悪屋」「維菊」 、

目種業營

-0-

其證預中產公普

般業爲金金金金金

務務替機機機廠

2

を見る事か出来るのも枚養 を見る事か出来るのも枚養を見る事が出来るのも枚養のだものでおり雰囲気 を養のだものであり雰囲気 を養のだものであり雰囲気 を養めたるが、何れも大掛り は殆ど

大船 内優難京 西村、笠知雨氏陽園 山之内英三監督作品「黎明山之内英三監督作品「黎明市洗 金知像の西村青兒、笠知像の西村青兒、笠知像の西村青兒、笠知像の西村青兒、笠知像の西村青兒、笠知像の西村青兒、笠知像の西村青兒、笠知像の西村青兒、笠知像の西村青兒、笠知像

はず誰れが見ても感激を受問されるこの水準から落言、といふ點にこの作品はず誰れが見ても感激を受問されるといふ點にこの作品である。
「映書の本道』を示したを表示となってあらう。
「場面【和】
「高いな」と呼呼ぶる。
「高いな」と呼呼ぶる。
「最近でする。
「最近でする。
「本のであらうる」と、
「本のであらる」と、
「本のであらる」と、
「本のであらる」と、
「本のであらる」と、
「本のである」と、
「本ので



重點主義 "の成功である、出演者にはお徳のと並んで基本たるものである、出演者にはお優のと地が出て來ることがである。出演者にはお徳の俳優では薬山枕之が強いところを見せてみた。主として演出のであらい。その他には大阪の宿によるものであらい。その他には大阪の宿によるものであるという。

(日曜火)。

るとの瞭▲な隣の「社会の 温祉といふ所、さしづめ国 温祉といふ所、さしづめ国 とオバさんの店で氣分の店 でお客が来でくれる、有難 でお客が来でくれる、有難 でお客が来でくれる、有難 でお客が来でくれる、有難 でお客が来でくれる、有難 でお客が来でくれる、有難 でおさん透開店後のか出した を註文するが、とオチさんが感 のであるの店で のであるの店で あると、 を記文するが、とれずさんが感 を記文するが、とれずさんが感 を記文するが、とれずさんが感 を記文するが、とれずさんが感 を記文するが、といふの店 を記文するが、といふの店 を記文するが、といふの店 を記文するが、といふの店 を記文するが、といるの店 を記文するが、といるの店 を記文するが、といるの店 を記文するが、といるの店 を記文するが、といるの店 を記文するが、といるの店 を記文するが、といるの店

本

大南京

路出張 支店

廣大

りするのである▼一覧にが りするのである▼一覧にが と品振つておでんやへ現は たから大は古い所をでいてれるのは を言へば誰でもが指を折っ であるが、他女の店へは も見える様に高質繁昌を祈っ にやる様に高質繁昌を祈っ にやる様に高質繁昌を祈っ にやる様に高質繁昌を祈っ と言へば誰でもが指を指い のは「八丁」女手拔きの威 のは「八丁」女手拔きの威 のは「八丁」女手抜きの威 のは「八丁」女手抜きの成 のは「八丁」女手抜きの成 のは「八丁」女手抜きの成 で東京に引上げる事になり 九日新京磯にて途中堀内前 弘報處長(現安東省太長) に挨拶旁々安東に立寄るべ く川島企劃課長引率にて在 く川島企劃課長引率にて在 浮名を流 助が家名 の養子さ ゆ

柳戸はるる 梅嵐 伏川高 見浪田 信 良 法 子 郎 吉 子慶子郎 結が日溝大ミ柳花優名の派新 1作高最の尺千三萬一々堂ぶ

員動總クツロブ竹松・興新・船大・都京壇劇

火血の俠浪脱 武の世や玉藩 士る界くがの、 道臓にざ仁一

柳章太郎

映畵法施行最初の

£° 美しき涙 0

0

名門音羽屋 年遂に天才 p. 2 悲 蹴って幾 そは、 7: の芽を 菊之 心之 明治演劇 の眞情さ 魂の 戀の 3. 17









新京崇

智路

六

電話②一六〇五番



市立醫院眼科衛鐵醫院眼科











女軍進出

(甘曜火)

印編發 刷料行 人人人

解決さる

ては日本政府は損害賠償その他の方法で漸次解決

(沙面の前面にあつた米戒克の順殺損害は賠償金をもつて解決をみた照コナイテッド・プレスリング協會の砲撃による被害は見舞金をもつて解に省陸平の米教會より撤兵すること、江蘇省大場のボブラ農場は從來交通禁省即墨ルズラン教會の空爆破害は見舞金をもつて解決した。

支英駐屯軍引揚

ものとみられる

1トホテルに天津駐屯軍副 軍の北支駐屯軍引揚げ發表 軍の北支駐屯軍引揚げ發表 式の命令に接してゐないのでそれまでは申上げられない 北支駐屯軍の引揚げは軍北支駐屯軍の引揚げは軍を分歐洲戦争に参加するものであるものであると思ぶが、引揚げは軍を必要をある。 軍副参謀長語る

全先るで軍 た 事情である。 本のである。 本のでる。 本のである。 本のでも。 本のでる。 本のでる。 本のでも。 本のでる。 本のでる。 本のでる。 本のでる。 本ので。 本ので。 本のでる。 本のでる。 本のでる。 本の では軍事上の 事柄である は軍事上の は他してある は他してある は他してある

明治二十三年の北清事變直常駐せしめるに至つたのは 人員は北京、天京、清南、終議定書によるもので、總 英印汽

のため十二日内閣改造を服 芸る九月中旬戦時内閣を約 芸る九月中旬戦時内閣を約

更に改造斷行

同様北支駐屯軍の一部を 露置と同様極東において無 ランス大使は十三日午後 旨を通告し、右の趣を記し 元ウス大使は十三日午後 旨を通告し、右の趣を記し 現場げることとなつた

東府の申入れの趣味 政府の申入れの趣味

応ぶ戦友の最期

実談綜合座談?

中田軍曹血

の遺書

書は其の家を前のという。 一世は其の家を前のという。 一世は其の家を前のという。 一世は其の家を前のという。 一世は其の家を前のでで、他は君という。 一世は其の家ので、他は君という。 一世は其の家ので、他は君という。 一世は其の家ので、他は君という。 一世は其の家ので、ない。 一世は其の家ので、ない。 一世は其のない。 一世は其のない。 一世は其のない。 一世は、 一世は、 一世は、 一世に、 一世に、

を兵軍近な陣たの観い一観に村軍を臺

境線

(五)

(北京十三日登画通)英國 政府は軍事的理由に基き北 支駐屯軍の大部分を引揚る に決定したが他國に郵先し に決定したが他國に郵先し とは北支の現情を認識した るものとして各方面に鍛した るものとして各方面に鍛した をもつて迎へられてゐる。 なほ北京及び天津における 外國の駐屯軍及び纏衛隊は 大體宏の和くである 恒嘗減少してをり山海關は規定されてゐるが、最近は

て萬全の措置を講じてゐる、併しあると觀測してみる、併しあると觀測して大軍を動員しますの事的資

空陸呼應して斷行

貴縣を空襲

野のである。

「中でである。

「中でである。」

「中でである。

「中でである。

「中でである。

「中でである。」

「中でである。

「中でである。

「中でである。」

「中でである。」

「中でである。

「中でである。」

「中でできる。」

「中でできる。」
「中でできる。」
「中でできる。」

「中でできる。」

「中でできる。」

「中でできる。」

「中でできる。」

「中でできる。」

「中でできる。」

「中でできる。」

酸のの上閉催、光づ徐統計處長 、 関内に於ける重要資源の需 に、 関内に於ける重要資源の需 は 計画を統 は十三日午前十時より國務 に會議室に於て關係官出席 に會議室に於て關係官出席 有力部盤は折柄の悪天候 を働き電州半島北部の要 を聞き電州半島北部の要 を間に同地附近の軟據點 を買し同地附近の軟據點

等につき説明があつて省要 望事項が行はれる 國務院人事

十三日の第五十八次定例図 務院會議に於て左の人事を 上程可決した 事賣總局技正 事賣總局技正 (前九州帝國大學教授) 階級簡任二等

▲飯田米惠巌氏(宮口紡機) 園都ホテル ・ 動場三木夫氏(同率天工場)同 ・ 動場三木夫氏(同率天工場)同 ・ 強い同一郎氏(東邊道開 ・ 強い同一郎氏(東邊道開 ・ 強い同一郎氏(東邊道開 ・ を水亮治氏(奥安南省公 ・ 著い同 ・ 支社長)同

果狙ふか に對す獨の威喝

1報陸ユ首ル ル相ス、 海レト軍ン

| 相スチュワード | 財政經濟の調整に當る濠州 | ス首相が就任したット、內相フォ | なは内閣改造と同時に戦時 が創設され議長に明日ケーシー、 (臨時) スペンダー | 目的とする國庫財シース、法相ヒ | 空相フエアパーン、職相 | 經濟會議および財

た

康德六年度工場調査

工業製品臨時資源の調

工場、職場の臨時調査

塞要の庭家

攻守作戦を容易にさせるも

要塞は國土と資源を防護し

郷山 政務處長、 三日午後三時東京縣發へ 三日午後三時東京縣發へ 三日午後三時東京縣發へ 一三日午後三時東京縣發へ

場三木大氏 (同率天工都ホテル 人事往來

國策に協力しませう。

生命保險に加入して興盛の

しめます。この秋との際、

國民貯蓄の實行を容易なら

の幸福を確保するとともに

のやうなもので、家庭永遠

恰も我々の家庭を護る要塞

のであります。生命保険は

がにその概要の説明があり がにその概要の説明があり、近藤事

で來京、建國大學を参觀しで來京、建國大學を参觀し

されて歸國の途次十三日午 校長訪日視察團一行十七名 校長訪日視察團一行十七名 は武田興亜院調査官に輔導

件、税關官制中改正の学を対している。

華北校長團

昨日來京

ないで、 大和田村教育司長と製談、大和田村教育司長と製談、大和田村教育司長と製談、大和田村教育司長と製談、大和田村教育司長と製談、大和田村教育司長と製談、大和田村教育司長と製談、大和田村教育司長と製設

満封鎖はアメリカの組がからいふ常識論で製

日本の生糸を 日本の生糸を のだ。▲なる

のもなくなるだらう。われのもなくなるだらう。われの言を恐れるのにならぬきないて、進かにドイツを見よるわが日滿において、アメるわが日滿において、運済的環境にあった。 本の大学の生活をやめることで、 を当れらは世界に一緒しなければない。 をは述べるだらう。 のもなくなるだらう。 のいたならぬ資 にあるか。 を避れる要がどこ を当れる要がどこ でする。 できる。 でする。 できる。 でする。 できる。 できる。

持賜以特任官待遇 **然簡任一等**

製事紫煙花

資 契約高

六億餘萬團 (昭和十四年九月末)

三十六億餘萬圖

に對して深甚なる注意を れーしはかかる印度の動

を国のかかる態度を契機として、これまで恵角分裂的 関向のあつた印度ヒンダーと回教徒との間に統一最線 が結成されようとする動き が見えて来たことである。 これば印度民業が一つに関 にれば印度民業が一つに関 なことであり、今日これが なことであり、今日これが なことであり、今日これが なことであり、今日これが なことであり、今日これが なことであり、今日これが なことであり、今日これが なことであり、今日これが

前線に勇士

一の猛訓練

部隊列

郎中佐は故藤田

十月十六日折桐の密雲に小雨さへ加へる悪天候を冒して飛翔中の荒鵹〇〇部隊の原中佐は、〇〇において肚原中佐は、〇〇において肚のならはを選げ乗員〇名は大空に散撃したが、原敬三

一 出本大尉は大型機の名整備 ・ 当び稀せられる大型機の名 ・ であつた、去る七日着任以 ・ 本享夏、西安等の爆撃大編 ・ 本享夏、西安等の爆撃大編 ・ 大尉は大型機の名

【北京十三日發國通】

大戰

の本格的進展と

ノ諸國の途

度員衆に對して、われわれらう。印度に對して、全印 佛つて置くことが必要であ

考へらい

ギリななるのがであった。

いて協議を行ふであら

価的なものでしかないほその内容に於て のなものでしかな のでしかな

のてしまつたのである。東したものの實行を全く

ギー經濟使節とドイツ當局 との間に十一日より開始さ れた、バリーではこの交渉 の結果如何はドイツがベル ギーの中立を侵犯するか否 かを決定するものと見てそ の成行を極めて重視してゐ る、即ち消息筋では

ドイツ軍の集結は英佛の に行動を開始するおとない、ドイツ軍の集合し、 を襲つてゐる、ドイツ軍のと見てを明瞭すぎる要求を に行動を開始する時は配に出動準 があるを開始するは直ち に行動を開始するおそれる を開始するおそれる を開始するおそれる を開始するおそれる を開始するおそれる。

りを もとともに、また印度よ ところで今天英國は宣戦

させられてゐるのである、氏は極めて苦い経験を嘗めつたものに關して、印度國

させられてあるのである、 今文世界職争の勃設となつ ても、先づ印度國民の心底 には、光般の大戦時の苦い 思ひ出がよみがへつたこと であらう。蓋し英國は多く のものを印度國民に約束し て大戦の遂行に印度國民の かなる援助を得つゝ、最 かが終るや、英國はその約

ベルギー經濟交渉

林

說

安全を脅す要求

傾向は相當後いないとの

ルコのその

軍の防衛完了

國防相デ將軍言明

成に

元んど何等の決定的動きを関係に置かれてをり、ひ

を続けるものとみられるを続けるものとみられる

絕對受諾出來

に關し、一方蘭外相語

これに反し對獨感情は獨 ・ という。 ・ はらして強硬状態に強しを ・ ない。 ・ はらして強硬に主張し交 ・ ない。 ・ はらして強硬に主張し交 ・ はらして強硬に主張し交 ・ ない。 ・ はらして強硬に主張し交 ・ ない。 ・ はい。 ・ は、 ・

ランド外相は

にレニングラード方面の を全を確保せしめた、し も自國の安全を脅かす惧 れある要求は何としても 受諾することは出来ない モスクワにおける交渉は まだ再開さるべき文書の まだ再開さるべき文書の まが再開さるが、し

関がモスタワを引揚げる オランダ政府にも到 でもそれは決して交渉のは決しで完全な拒絶ない、フインランドの對 いとし業觀的觀測を り、提案を發表すれば兩國 ある、一方消息筋は り、提案を發表すれば兩國 ある、一方消息筋は から當分の間その發表を 提れなしとはいへない から當分の間その發表を 提続につきドイツと 見合せる えテきを注目し

ギー國防軍の國土は いでゐる外、~ 當局は極力これ。

防衛準備

對策を急

は完了

一体の回答

國通」オランダ政府は十二日 通話を停止 電信電話の

經濟交涉開始

否か?獨態度の岐路

白耳義間に

つた、右遮斷理由につい 電信、電話の通話停止を 夜敷時間に亘り廣範園の

國筋の疑問深る

態度不明確

が 元首の和平提議に對する英 元首の和平提議に對する英 大統領ルブラッセルに到着直 大統領ルブラッビ版し本問題

ル十二日發國通

常局との間に活潑が 的言明を避け他くま

不侵犯はヒトラ: 不侵犯はヒトラ:

復活要求を協議

陸空軍の至寳

原中佐機自爆

大陸に壯烈な散華

農林省明年度豫算 一億圓の大削減

國に對する物資の供給を完善 除正次 作歌水艦による船舶の無鬱 尚同事

さるやり現地日本官憲の ざるやり現地日本官憲の 朝鮮米第二次

一、旅行評別は必ず携行かること 二、通行に際しては豫め現地の關係機關(日本及び地の關係機關(日本及び地の關係機關(日本及び大変が関)に通報することと、第一支那便服を着用しては通行をしないことを明實ならしめる標識とを明實ならしめる標識とを明實ならしめる標識とを明實ならしめる標識とない。



く同教會を訪れ深

に、同氏ので

が城機整備隊のため距賊をが**が城機整備隊のため距賊を** (徐州十一日簽明通) ±

後ハノイ經由重慶

石に七四の酸十

免本職

は、ことなく空中動務者一同のの同乘者も一同中佐の手となり足となって活躍した売のを受けてるた。その他の手となって活躍した売がれる。 **水に関し協議し大廠省に**

る折衝方針を決定するこ

拓務省協議會

とするもので之はドイツのとになりこの點ドイツが今後バルカンに對し如何なる態度を執るかは一つの残された問題である

ア、は

□○・交渉を受けるのとい交渉を受けるのとい交渉を受けるのというできませばいいた。

(ロ) 市方に對する移 施民光實計畫については 施民光實計畫については 施民光實計畫については 不要求級的實現を聞るこ で要求級的實現を聞るこ で要求級的表礎方針とし 目に開する要求概

印度駐在電景された 更迭 て 左更駐通 の 変在 東 如は武印京 く十官度関

らなのもい旨……らな會宴御の儘皆 受引御汽车党名十八

養ご生必品

と一般的に生活状態も違います。それと一般的に生活状態も違いますから……。 がますから……。 りをした生活を眞似て單いを記述がは低めて行き他でもという。ことになればではある。 を展上することになればであると思ばれます。 ると思ばれます。 ると思ばれます。

が、物を余計に喰べなければ不可ないと思ひますがば不可ないと思ひますがあるを含むやらなものを夏は一杯位は余計喰べなければいかんでせられっ。 なは薬食です。こ

が ハルピンのロシャール ハルピンのロシャー

陣中選歌の榮

感激の岡田一等兵

電間する青少年養男軍の現 を関する青少年養男軍の現 を関する青少年養男軍の現 を関連に紹介するため選ばれた養勇軍現地紹介

英により、 東京大臣からの褒として民生部大臣からの褒として民生部大臣からの褒本 として民生部大臣からの褒本 として民生部大臣からの褒本 として民生部大臣からの褒本 本語人は張陳氏(八二)金許 がいる。

容器の賣買統制

局認識强化の時

蒙古高原の花

四節婦に表彰式

春の家庭へ橋の掛輪

慶明拉式足球

寿、贈軍、拓務術大臣を 非、明治神宮、韓國神祉に は、東京、韓國神社に 四日は法費會館で

村丹江省内森林資源合理的 大十三萬國をもつて着工し て以來工事進捗中だつた柴 で以來工事進捗中だつた柴

地方一帯の鑛業開設を地方一帯の鑛業開設を 開發に進出

開拓戰 現地報告に入京

紹介 年館に向つた、騒員は何るた 決意を述べた後宿舎日本の現 騰遠報告と任務遂行の周 大橋邦治君に陽遠の

に張ちさうではない▼焼油 に戦を率じてゐるものは※ に戦を率じてゐるものは※ に戦を率じてゐるものは※ であつて日本

四千種位になる。もつと滅ら

市立醫院々長山口廣五郎氏 際院々長山口

がを 少り なま身まや食計はの いす を ないす



適齢女性の自己診

で網羅した一機關を設け、で網羅した一機關を設け、

電はない 準備が出来てゐるから心 ではない

楽語してゐる「寫眞は詞

が厳述且つ正確なる科學 の最新式重砲陣】 で擬装された西部英佛戦

り敵陣に火災を起したり、

肉體にも影響

電話3:三〇〇番

の感情は

新設

科科院 産婦産

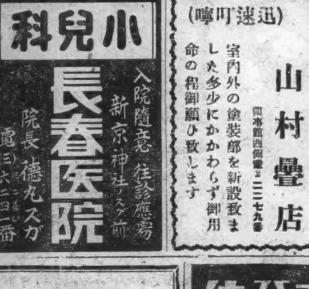
つて營まれてゐるのであり子降液、膽汁などの分泌 | 本村穀脚色|| 五平|

投資の禁御中越次荒進宝

黑田實法律事務所

日本橋通より青入半丁 日本橋通より青入半丁







· 查等賞 カネク製麺麭工具 西四馬路管路(え)一人六六 御 金牌受領 用

此際は是非健全な子供を多けばよいと思ひます、但しけばよいと思ひます、但しけばよいと思ひます、但しずがある事門家の門を叩避的に正しい知識をもつか理的に正しい知識をもつか それも 婚前に 第一文世界大殿は幾多の科 學的新兵器を生んだが、今 李歌爭においても各國は何 れも職爭勃發以來一流科學 者を總動員して近代職の雌 者を總動員して近代職の雌

り」と蔵場したのに對抗し 中心となり多数の科學者が 中心となり多数の科學者が 中心となり多数の科學者が

| 水め實験の結果採用された れを検討して廣くヒントを のお果採用された

調が、未だ成功して採用された。 一番多いのは殺人光線 な、一番多いのは殺人光線 の研究でこれは大低毎週二年ののが既に敷件に上つてる

敵味方にも躍起 學兵器の發明 鍋を削る英獨科學陣

ス京以来雨と防空演習の 入京以来雨と防空演習の

市内の洋車や馬車の「マン

節ヶ丘高女旅行團

・ 大、五五(大連)網の音樂 ・ 大、五五(大連)網の音樂 ・ 大、五五(大連)網の音樂 ・ 大、五五(大連)網の音樂 ・ 大、五五(大連)網の音樂 ・ 大、五五(大連)網湾市況 ・ 一〇、〇五(東京)經濟市況 ・ 一〇、〇五(大連)網湾市況 ・ 一〇、〇五(大連)網湾市況 ・ 一〇、〇五(大連)網湾市況 ・ 一〇、〇五(大連)網湾市況

一〇(新京)今日の 一〇 (新京)今日の

ふの 番組

日常 の感情生活とい

のの用命は

秋票販売 商品券の賣買し致します

新京祝町二丁目 南廣場與銀模 電鉄③二六四四番

真物が觸れて刺戟作

美化と海座敷

後※六

マアーブルー 「昆虫學者の「鬼鬼」

季節の御料理

新

TANTE 25

花柳病科 入院隨時

產婦人科 電③五七〇九番 社 松 町 一 六 肥後弘子

それは

句ひこほれる髪…誇らしい髪 金鶴が創りなす髪

生後間もない赤ちやんはまりませんから、成るべく起かないで纏かしておく方がよいのです。若し抱く時がよいのです。若し抱く時には赤ちやんの 赤ん坊の 抱き方 すぶるな

胸や腹 るので乳 るので乳

温かで

秋から

注意して背負ふ

では主人が苦虫をかみつどれ故あの立派な體格をもつ

婦人へ」を発出の (の、 西の(大連) 一、 西の(大連)

詪

国オモハズ プリコ ・ツラ

ア コ マ ニームレントゲンにも勝る

灣超短波治療器

超短波治療器とは驚異的卓刻を全世界の醫學界

であ 咽 ます 帧

確認されたる最新最鋭の治療器

性神性脈 科皮部中配 外 演義

部品

C 型六十五圓を特價六十圓、兩極日型八十五圓を特價八十圓 家庭用新型宣傳中特に

大好評特價提供効果宣傳賣出

「正風」ともいふべき作風は、ルコント・ドウ・リイルとホセ・マリヤ・デ・エレデイヤとが示してゐる。 ルコント・ドウ・リイルについては、「自家の理論を 詩文に發表して、シオペン

の金八爺が引き出すのを の金八爺が引き出すのを 一週間も延ばしたの? 一週間も延ばしたの? 一週間も延ばしたの? な八はもう二三日前に承 知したんだ。あのね、公 情がね、もつと騰るんだ よ、うんとうんと騰るんだ よ、うんとうんと騰るんだ

を載してゐる。彼がこの 風を載してゐる。彼がこの とは否定しえない。恐らく とは否定しえない。恐らく

ので原作者の呼吸と認者の ので原作者の呼吸とがびつたり合して句 が吸とがびつたり合して句 がを目して、佛蘭亜衆後詩人 の移植に不朽の假植ありと するが、後代への影響とい するが、後代への影響とい が、佛蘭西高踏派の精錬 がにかいものだと思ふ『海 がにかいものだと思ふ『海 がの都介書とするごときは、 があるくは一面的観察に通

をあげて置く、原野 (一大変) という (一大変) (一

結構、今日は一つみん

なこと、この派の任務が前たり、前人、殊に情熱派の人り、前人、殊に情熱派の人力は文體が冗漫粗雑なためた。この個久性を全てえず褪めての質り性を全てえず褪めて、

ひよをく

冷靜なる大理石像の清秀

なんです

す。早く歸つてくれつて気がいけないんださらで

健はいかなる解釋を るたか。

第

海潮音』

研究

時人の特色ならむ。 時人の特色ならむ。 時人皆多少憂愁の思想を具 たれど、厭世觀の理義彼 に於ける如く整然たるは窄 なり、而も詩趣饒かにして かり、而も詩趣饒かにして とろにベラスゴイ、キュク 単ろにベラスゴイ、キュク

0

とちらの潘四爺に電話をした、何でも待つてゐてした、何でも待つてるてくれ、もう少ししたら行くれ、もう少しした。ですくからつてでした。ですから、何ならもう少ししたので、ばい、さようなら。

あいさら、だやいいわ で構四給中央の戸から入 で新四給中央の戸から入 である、石かてかした

生れたといふこと、この派 をいうマルテイイヌ、ミュッセ等の情熱派に對する反 ツセ等の情熱派に對する反

自我の思想感情を

う人れ、中央 より 退でる。福升は潘月亭をでる。福升は潘月亭を

しろ自我を脱却して廣く限 しろ自我を脱却して廣く限 て文學の材料となるのを待 てる自然と社會、藝術、人生 てる自然と社會、藝術、人生

かかりし程に、粗膚の薬 観度のしなやかに 観度のわたり魚 あふさきるさの徘徊に、

商品

用愛鈸の腮をぞ、くり 身の欝憂を紛れむと

・尤も先刻李さんは

(日を推ひ) 李太々で すよ(又話し)えょ、さ うです。 学さんはこちら りです。 学さんはこちら りです。 学さんはこちら

でディを放つてゐるんだと聞いただらう。それは自分でも澤山買つてゐるんだって、なためその始末をつけようとしてゐるんだつて、なちに買は自分でも諸けよっとして外の表演、この僕の事業、僕の家族、この僕の事業、僕の家族、この年でさ、僕の家族、この年でさ、僕の家族、この年でさ、僕の家族、この年でさ、僕の家族、この年でさ、僕 雄禺 譔

をやらう、好いことをし でも、あんた方はあつ こり小娘を又金八の手に さり小娘を又金八の手に は、会である。可哀さらに! 「可哀さらなパペ!」 可哀さらなパペ! 「可哀さらなパペ!」 可哀さらなパペ! 「「我ないよ。僕は今ちつといなくてはならんと思ふ、なくてはならんと思ふ、なくてはならんと思ふ、なるんだ。とれたけばもつと金持にななるんだ。どれだけ儲かるが判らんのだ、どれだけ儲かるが判らんのだ、どれだけ儲かるが判らんのだ、どれだけ儲かるが判らんのだ、どれだけ儲かると記事もなるんだ。どれだけ儲かるが判らんのだ、どれだけ儲かるが判らんのだ、どれだけ儲かるが判らんのだ、どれだけ儲かるを持になった。

したつての?

まれ? 現付けるつて?もらあの子は海に投げ込まれたも同じなんだわ、私探したわ、でもちつとも見付からないの。 ないよ、鍵がある、僕はきつとれ焼をピソーして関って来るやらにするよ、そして君を喜ばせてあげよ を聞かせるんださうだ、 だがあいつもでたらめで れ、何とか僕を引つばら うとしてゐるがなあにこ のけてやる。 いわ!お、あの李石清さんがまた會ひに來るんで 攝浪·琉璃 店。 臭家

常の値夏の太陽に照らされ であり、その「象」は大波 であり、その「象」は大波 のやうな砂漠を烈烈たる熱

をはかりに開いたる。 素より無遷天弦を仰ぐに はあらぬ魚の身の かでは、みつ星や、三角

慢性な

月陽病

たえず慢性的に胃吸

石酸、胃痛、下

無限に曳ける光芒のゆく に、想触するなく なにかあらむ。

群かむ、 割かば る人でも、胸やけと 期、しぶり腹、驚鳴 に消退するばかりか に消退するばかりか

ites seed in

ない。 では来に楽み、血の 気に欲を湛へつゝ を高いて水重さ潮の底 の荒原を をは、きらめかし、

受養作用によって

カタルとなば

ながら、何十頭といふ大衆 の集團が生れ、里を立出で に無花果の森を尋ねて移動 する肚大な風景を歌ひ「サ カラ・ファアメス」の詩は 深夜の大海原の暗黒の底に

は 解とし、解とされつつも 「死」の大神の前には一切 無力なる虚無の哲學を寓してゐる。すべてこの詩人の作風は莊塵典雅、比類なき 重厚の美に輝くが、彼はその原調に應じて、これを七五・七五・十四音調で譯出した。いづれも集中屈指の佳意である。解釋も間然するところがない。

腸を固復させるか 関係の部を清掃し

一話。間 思密重品 販賣売 友田合選書社

刊の新聞腸藥

行

品

伽陽粘膜面の





止式美顏術

ビ、ソバカス、シミを除去しよる現代科學を高度に應用せ

Ξ

五二三八

院

マネン

トゥウ

御婚

禮

御支度は

術者の最所を採る嶄新な着剛法に獨特な化粧法と東京一流の美容技

はた、 ストルまで用意してゐた んだよ、ちやんと身體に 持つてゐたんだ、僕は— 一(軽をする)

の事に償ひが難しいわ。 小娘がどうかしたかね? まだ見付からんと言ふの かね?

を報は、 を対し、 を対し、

「滿洲における能率諸問題」その他能率研究の諸 連二をの他能率研究の諸 連二をの他能率研究の諸 連二をの他能率研究の諸 を発生した。 を表表を、 のでは、 のでいる。 のでい。 のでいる。 のでい。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでい。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでい。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでい。 のでい。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでい 湯タンボ 川製 売造 商卸 日本橋通三笠町 世帶道具 1 419 寢爐



新京三笠町三丁目 盛 倉 商

店

話③~二三八二二八

ЛЛ

〇九 香香







お茶で茶道具の店 優秀な技術者を招聘しました 度 仕 禮 婚 御 裳衣・ラツカ貸 術顏美線外亦 り通街ヤイグ E



分工場 振替口座 新新 話 京 話 京 二三三六七番 五. 馬

惡病流行 腹工合悪き時は

纯即席 品料板 蒸蒸園



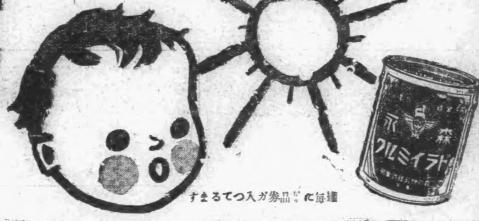
(六)



列身行罗許蘇

た來てて青を見康健の万百幾でまれる 消の分成同と乳母はクルミイラド永森 すで乳粉良優の=無い良の化 品用代乳母全完







本語・本語・大学の 学校 は百七十六點をもつて機関には鎌路自衛 は百七十六點をもつて機関には鎌路自衛 は百七十六點をもつて機関には鎌路自衛 は百七十六點をもつて機関

模範者表彰式

宝満に報告せん

奉仕の感激を

本格的な多の到来と共に永勝下を彷徨する氣温はなら公園その他の池や水間りを結氷せしめ、氷滑がられるが、薄氷のため毎年死亡者や怪我人を出してゐるので市公署造闡股では一般の注意を要望してゐる

混就とムソリーニ首相が 要前のひと とき間智能 とに「或る とに「或る とに「或る

きのふ大新京三業組合で

はじめ組合役員、機宝並に にいる組合役員、機宝並に にいる組合役員、機宝並に にいる組合役員、機宝主任 にいる組合役員、機宝主任 にいる組合役員、機宝主任

して吉田組合長から晴のれ 表彰就と賞品を受けた從衆 員は次の如くである【寫實 は表彰式】 本高級、五年以上動機、やよ

より實用體操へと全面的改 社會情勢に即應し形式體操

理想的 住宅街

國都の都計進地

満各學校陽係者を招集十三 上問題につき教務部では全 上問題につき教務部では全

に體育向上研究會を開催、日より五日間激務部會議室



二、地方師道訓練所擴充計 「係方面より期待され、師道學校體系改正に關 でその成果について、師道學育物學に指する



先づ喇嘛僧に 近代醫學を教導 健康蒙古を目指す

火災ご電氣 實驗

止に重點を置き保健施設の 部では現下蒙民族唯一の協 部では現下蒙民族唯一の協 をされてゐる悪疫の蔓延性

下の恐怖

生會の誕生

高させ火災 (ない火災 (ない火災

らした火災酸生の度ごとに その原因を漏電と見られる ことが騰々ある、果して電 気は斯様に危険なものであ るか、クさにあらず々と電 まれる概念を一掃し延いて 司法當局が火災發生の原因 可法當局が火災發生の原因

川・田(甲子園)

放送事業擴充



(6 − 0)岩田 (甲子園) △混合複準決勝 熊本 (中百舌) ナショナル (記)田中銀(日子) (名古) (名古) (名古) 根(名古)

瓦斯コンロー

細字の郷勢實演即實展

シカゴ世界博に於て細字の世界

記錄を獲得した本間寬平氏の

66-2 大多(甲子園) 大多(甲子園)

戸田襲(甲子園)

千五百萬圓の大豫算を計上

が先決であるとの建前からが先決であるとの建前から

公會堂評議員會

、 新京記念公會堂では餐に新京記念公會堂では餐に新 、 開催、理事の互選をすることななつた

今香く延期することに内定した このらち内容改善については中央集権制を確立の ため新京中央放送局の指 ため新京中央放送局の指 ではよつて全般的な放送局の指 では最近端人層のラ がでは最近端人層のラ デオに對する認識が急角の がかでは最近端人層のラ がでは最近端人層のラ

吉野滿業副總裁

滑るのは早

結氷は未だ真物でない

合に依り臨時休業さして戴きます員申の合せに依り來る十五日は都 和京米穀專門商協會

(3) 四平 七次 -0 大四郎 號

京手(BA中光澤 中間調調 中中間調調 最高級

減尿 性病 醫學博士市橋貞三

営み候係此段生前辱知各位に二十九分病院に於て長逝致候に就ては告別式を本十四日午に就ては告別式を本十四日午に就では告別式を本十四日午 滿洲特殊製紙珠會社

滿公益盛順 司

30人イッチュー) 本村 一高大 3中野(法政) 村上(昭棉)

9山縣(龍) 徽 専門 製作販賣

優勝盃

中

外徽章洋行

大連而屬的二番地

3 補本(服) メダル カ

倫同日は移轉の為一日休業可致候間御承知園を願上候 問此段謹告候也 一時の記屋落成仕り候に付十一月十五日より左記の處へ移轉仕候 轉 廣

告

考案・カタログ進星 電話含三五七九番

記

新京特別市興安大路二〇六號

> 大江(甲子

二引商工株式會社新京支店

肉眼では讀めの超細文 字が皆樣の眼前でスラ 十一日11七日間(壁) くと書かれます

結婚保險·教育保險 一徵兵保險代理店 類京·教島通四 地 教皇

と、それまでは が錆だのや緩舵や がってるる

たけで、これ

シャルバンテイエが

ツク 風化 し場く用 第五 両六七 好 堂 電 3 五 両六七

鬙

今辨慶整母院

消於疾院東正門前

○の御用は

結婚媒介部

路白疆會

はね

つぎ

をナマルイ電影関通報告申上候新原通電話でのようマルイ電影関通報告申上候新京大猫病院 井上歌醫教白 アクに依る

お茶道具は新京吉野町二丁目は新京吉野町二丁目は

古光堂療院

けの言葉は知つてゐ

畵作

それは、その三つの港を つなぐ二等邊三角形である アレキサンドリアは、第 二級の區域指揮となる大部 局の所在地、サロニキ、ペ イル・トにも探知局をもふ くむ小部局が置かれてある それにはソ聯の、各外交 機闘の情報部以外の、宣傳 探別の連絡線がはしつてる

窠

特效薬安心散陽 節 炎・神 經 屋性化物病・皮膚病 節 炎・神 經 屁票のマチス 学 大番地 上 一 大 堂 京院

看 板 裝 號四九路經大京新 春三六一二3話電

龍

密秘期長・時即融金 るあ用信も最は該相側の話電人 意温泉

物染入细

心理 温を 理》

業營 電話特融 (大口優待) 地よく 送 業調 查狀 (森外支店出張所四十一個所、其他主要各地取引世界各地向送金を御便利に御取扱致します内地向蔣洲各地向と有利温速に御取扱致します は御便利です) に御便利です) に御便利です)

電話③五七八

屋京

立水店 金金 横 登億多千七百拾五萬圓(全額拂込濟) 正金 銀 行 支新 三六一

の御取大き、内地への組替へも迅速に御取扱致します小口預金千難より、定期預金百職より、其地内地預金

物

新京梅校町(京三茶道) 八稿旗涂部 電話(3三〇四一番

旗·幕·幟·脫章 元染

目科業營 滿支向毛織物 閣和會用服地 會社 合名

店

舌頭霸。 は一次 花園 辨當 最御注文に應ず

不明板の正體である。 にれが、昨年世界 に現のやらに暴

印書

タイピスト歳

店盟加合組入輸京新

入學隆時 東京新愛路1○五號 東京新愛路1○五號 瀬洲直賣所 本記 東京新愛路1○五號 東京新愛路1○五號 東京新愛路1○五號 東京新愛路1○五號

新京朝日通八十一章話 3338

農告の仰川

もし神が、スパイの儀を あるやりな男だ。 そして一つの不思議は、 を見伊太利のラウレティ型

清水堂鍼灸院

整骨

専門

福州國總配給所 東女の職業紹介 事女の職業紹介 事女の職業紹介 事体 日・ 満人 第集 日・ 満人 メラ修理 電話3二III九0 寫真機店 体出现智能

A円里 一丁目 (冒祭ビル内)

電話③五五四九番

貸出 勉强流品大安壳

代日 服 火)

いかなるものさ

G. P. U下の

社會式株業實省東 (六〇四衛大同大市別特京新 所在駐) (番七一九四2 話量)内ルビ拓東

東二條通三九二萬一大學

口歡迎

お電話次第

貨商商

部

砂糖、米糖、

御相談に題じます

知愛 話金

岩見電話店 **薬門三ノーノ四 (八鳥小學校前) 電路3・3137番

戰敗夏

大和運輸公司 引越及建築土木科一般 引越及建築土木科一般

防寒コートな御婦人の多衣

荻本質店

三友

J 空巢狙い 泥と

金物百貨店 た 西 第3111百分

吉野町二丁月平本洋行裏

カメラ及公債儲蓄債券和洋服は特に勉強 屋質店

荷造運送 醫 物荷 住 吉 勝 龙 公 水樂町三丁目世一 長春大街三〇二連國般若幸 電戶三八四三番 -

臉材

建築工事施工請負

應用防水材料販賣並防水工事為工調負

樂港其他一般土木工事施工蓄負

クス、英工ゴムタイル、揺順セメント、、建築具金物、津村製作所製作金物、坂、ベニヤ板、矢橋大理石、テラゾー、田、油、面油、重油、機械油、礦物性ターベ 豐國火災、滿洲生命 社式

新

代表電話三一三八二一番

、売鉛引編線、8 K F ベアリング、ベルト、鑑賞製品等油、登動機及ボンブ、設房器具、金庫、宣王ストーブ、ワイヤーローブ、マニ糖油、登動機及ボンブ、設房器具、鍛山鐵道用機械、土木道路用機械試験機具度量衡機 ント、防水材料類、煉瓦製造器物、坂本式スカイライト、ペンー、田中式カストストン及タイ 人絹及スフ織物、毛糸、 茶、洗濯石鹼

場居堂製薫香・筆墨・み **岩野町一**一 3 9

御相談下さい詳しく御説明申上ます。設に鍬を振ふも目に異常あつては能 他種々収揃へて御座のます 又双眼鏡、望遠鏡、磁石、擴大鏡其 兵隊さん五分割引致します

事務を執るにも勉強するにも大陸建 皆樣眼鏡の調子は如何ですか?

貿 請司 商 0 猛